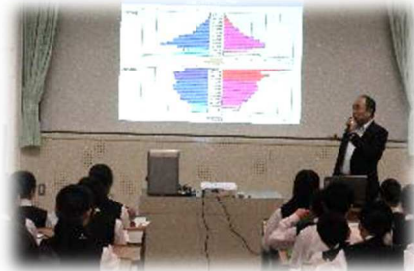


# 2017 f高 トピックス 9月

9月14日・15日に、神奈川県による最新技術講座が、本校2年生を対象に行われました。

看護科・福祉科 それぞれに専門の講師の方をお招きし、最新の小児の医薬品開発や、介護・看護現場で役立つ「くすり」の知識など豊富に聴かせてくれました。

これから実習を控えている2年生達は、今回の貴重な講座内容を糧に更なる向上を目指していくのではないのでしょうか。



神奈川県政策局 前田様

【2050年には超高齢化社会の到来と言われている】



## 看護科 2年生

### 講座内容：「病気の子どもを救う医薬品開発」

～最新の科学で日本の未来を担う子どもたちのために～



国立成育医療研究センター 薬剤部 石川先生

「子ども達には楽しく医療を受けて欲しい」と、話す石川先生。現場では痛い・怖い・苦しいという気持ちを避ける工夫がされているとのこと。

成人の薬と同じくらい小児の薬を研究して、喘息やアレルギーや難病等に効く特効薬開発と共に、小児期医療に力を注がれています。



国立成育医療研究センター CTコーナー

【子ども向けのCT機器 明るいデザインに☆】



国立子ども医療センター 薬剤師 三浦先生

新しい薬を開発するのにかかせない治験。国の了承を得る為、薬の効果や副作用等のデータを収集しながら小児用製剤の開発に携わっている三浦先生。ただ成人薬の量を減らせばいいのではなく、飲みやすさや効果のずれ、また対象患者が少ないなど沢山の課題の中、日本の未来の為に奮闘中。

### 【質問コーナー！】



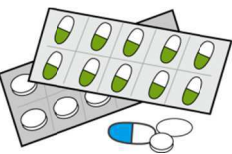
【リアルな内容に、生徒達の関心も高まります。】



## 福祉科 2年生

### 講座内容：介護・看護現場で役立つ「くすり」の知識

～これからの社会を支えるために～



初めに、帝京平成大学の清水先生による「くすりの基礎知識」では、クイズ形式を交えながらわかりやすく、教えていただきました。

次に、病院の薬剤師の樋島先生による看護・介護現場での薬の効き方、正しい使い方を教えていただきました。将来医療従事者になる生徒が現場で関わっている方からの教えに、熱心に受けていました。生徒にとって貴重な機会だったと思います。



熱心にノートをとっていました。



帝京平成大学 清水秀行先生



東名厚木病院 薬剤師 樋島学先生

### 【質問コーナー！】



【リアルな内容に、生徒達の関心も高まります。】